

「防災イベント企画案」の検討について

第13回防災まちづくりの会の結果、実施したい企画案がまとまってきました。次回以降の防災まちづくりの会では、この結果をもとに、防災イベントの企画内容について話し合っていきます。

しかし、防災イベント企画について意見交換を進める一方で、開催時期については「感染症の脅威がなくなってから」という意見が多いです。

防災イベントが安全・安心に開催できるよう、イベント開催の方法等も慎重に議論を重ね、自助・共助への理解が深まる有意義なイベントを開催できるよう準備を進めてまいります。



2 今後の活動予定

令和2年10月の第10回防災まちづくりの会より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面方式での検討を進めてきました。

集会方式の開催再開の可能性を見据えつつ、今後も細心の注意を払いながら、まちづくりの活動を進めてまいります。

3 会員(委員)を募集しています

防災まちづくりの会では、現在、防災のソフト面(自助・共助)の活動について、「イベントの開催」を検討テーマに活動中です。巣鴨五丁目の防災上の課題解決策や、より良い住環境の形成について、一緒に検討してみませんか？

参加すると、知らないことをたくさん知ることができて楽しいですよ！
本会に参加を希望される方は、下記の事務局までご連絡ください。



●事務局●



TOSHIMA CITY

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道推進グループ
TEL: 03-3981-3449 FAX: 03-3980-5135
メール: A0050025@city.toshima.lg.jp

株式会社 双葉
TEL: 03-3953-3265 FAX: 03-3953-5071

1 やってみたい防災イベントについて、検討を始めました！

書面方式 第11回防災まちづくりの会(令和3年3月)

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、Web会議等の安全・安心な防災まちづくりの会の開催方法について検討しました。

しかし、Web会議では、機材の有無や環境により参加不可能な方がいらっしゃることも、開催時の機材トラブル等不安要素が多いなどの意見が出され、「郵送による書面方式」にて開催していくことになりました。

書面方式 第12回防災まちづくりの会(その1:令和3年6-7月/その2:令和3年9-10月)

第10回防災まちづくりの会から引き続き、「近所付き合いを強めるきっかけとなるイベントの開催」について、検討しました。

第12回防災まちづくりの会その1では「やってみたい防災イベント」について意見を出し合い、その2で、意見から整理した9つの防災イベント企画案について意見を出し合いました。

書面方式 第13回防災まちづくりの会(令和4年2月)

令和2年2月から約2年ぶりに集会方式で防災まちづくりの会を開催する予定でしたが、年明けの新型コロナウイルス感染拡大の状況から、集会方式での開催を急遽中止いたしました。

そこで本会は書面方式に切り替え、イベントの実施に向けて、どのような企画をやってみたいか、第12回防災まちづくりの会で整理した9つの防災イベント企画案の中から、もう一度委員で投票し、企画案の絞り込みを行いました。

集会方式での開催は次の機会になったわ



9つの防災イベント企画案の詳細は次ページ以降に記載しています。

防災の自助・共助について

近所付き合いを強めるきっかけとなる

イベントの開催

災害が起きた時、行政機関等からの支援（公助）を得られるまで、自分や自分の家族を守る、また、近隣の人がお互いに助け合って、命や地域を守る必要があります。（自助・共助）

防災まちづくりの会では、平時から顔の見える関係を深め、互いに助け合える地域づくりを進めるため、「近所付き合いを強めるきっかけとなる防災イベント企画案」を検討しています。

現在、会では右の9つの企画案が出ています。

これらの案の中から、防災イベントとして開催できる企画となるよう検討を続けてまいります。



防災イベント企画案



① 防災町内さんぽ

防災まちづくりの会で作成した点検マップを基にまち歩きをし、町内に新たな危険が潜んでいるか確認します。また、一番景観の素晴らしい箇所を投票し、表彰します。

② 防災見学バスツアー

豊島区内外の防災に係る場所をバスで巡ります。



④ 地域で助け合い 災害に備える防災教室

豊島区における避難の方法や防災グッズの使い方などを学びます。また、ゲストを招き、お話を聞いたり、井戸端会議的に地元の事について話し合いながら皆さんで防災情報の共有をします。

③ 防災お料理教室

発災時にも簡単に作れる美味しい料理について学びます。この時、必要となる備品についても確認します。



⑤ 防災グッズ説明会・販売会

発災時に役立つ防災グッズの紹介や説明などを行います。また、防災のみならず、減災に役立つグッズについても紹介し、防災への意識を促します。場合によっては、メーカーの方をゲストに招き、直接お話していただけます。



⑥ 在宅避難研修

発災時、在宅避難となった場合、公助を受けられるまでの期間どのように過ごせばよいか、基本的な考え方を学びます。また、防災・減災の意識を高め、具体的に災害に備えられるよう、普段から生活の中で実践できる術を学ぶ、もしくは体験します。



⑦ 避難訓練

発災直後、自宅から一時集合場所や広域避難場所への避難について要介護者やペットがいる場合などを想定し、行動体験をします。

⑧ 防災訓練

—防災訓練との連携—

既存の防災訓練と連携し、町内対抗形式で訓練します。また、救援センターの運営とも連動して考えます。



⑨ その他

—防災アンケート—
イベント開催時、参加者へ防災に係るアンケートに協力してもらいます。



防災イベントの開催時期について

コロナ禍の状況での開催時期について、防災まちづくりの会の考え方は以下の表のとおり「感染症の脅威がなくなってから」が73.3%と最も多くなっています。

- ・ ワクチン接種（2回）後、様子を見て…………… 20.0%
- ・ 感染症の脅威がなくなってから…………… **73.3%**
- ・ その他（with コロナで早期実施）…………… 6.7%

防災イベントの開催時期については、必要とされる感染症対策は施した上で、その時の状況を考慮しながら、防災まちづくりの会の中で議論し決定していきたいと考えています。